

「文化で人の心を豊かに」

紋別市芸術文化機構

ホットランドオホーツク会長

加藤 洋 子さん



劇団四季やオホーツクフォークまつり、鼓童などの公演を企画・招聘している団体、「紋別市芸術文化機構ホットランドオホーツク」の会長を務める加藤洋子さん。

「文化は人の心を豊かにし、それは他人への優しさにも繋がります。また、過疎化が続く紋別でも子どもたちに夢を与えるため、より多くの優れた芸術文化を紹介していきたい」と、来年度と同機構10周年を前に決意を新たにしています。

ホットランドオホーツクは平成11年7月、「市民劇場実行委員会」「オホーツク音楽祭実行委員会」「オホーツク芸術・文化セミナー実行委員会」「市民が映画を楽しむ実行委員会」の4団体を統合して発足。それぞれの団体に市から交付されていた助成金をまとめることで、毎年の大型招聘事業に変化をもたらすなど、より柔軟な企画運営を目指して活動を始めました。

運営には、市からの助成金のほか国や道からの補助金な

どを活用していて、主催事業経費の最大75%を負担。これにより入場料を抑え、優れた芸術文化に市民が気軽に触れるチャンスを広げています。

「市民の大切な税金の一部を使わせていただいているのですから、市民の皆さんの「見たい」「聴きたい」という希望をできるだけ叶えたいと考えています。そのためには、多くの皆さんにもホットランドの活動に参加していただけたら」と話しています。来年の10周年に向けては、「市民の皆さんに喜んでもらえるものを企画しようと、役員と会員で検討を進めています」。

ホットランドオホーツク発足時から招聘部会長を務め、会長になって2年目。他にも様々な公職をこなす多忙な毎日ですが「私自身、一人の人間として心豊かでありたい。そのため音楽や芝居などの芸術を、自分の肥やしにしているのです」と、芸術文化との関わりを心から楽しんでいる様子です。